

令和3年9月定例会  
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会





生涯活動推進課長 図書館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止施設関係の利用について</li> <li>・図書館在り方検討会について</li> <li>・図書館での新型コロナウイルス感染症対策について</li> </ul>
給食センター所長 芥川委員 太田教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の大雨での雨漏りによる補修について</li> </ul> <p>特別支援学級新設の希望による設置見通しはどうか。</p> <p>県全体での枠がある、要望は行うが、新設学級に複数名なのか1名だけなのかでも違いがあり、すべて設置することは難しい場合がある。</p>
近藤委員	部活動は公式戦の2週間前から可能と説明があったが、その都度学校から委員会へ承諾を得る必要があるのか。
指導主事	大会前2週間の練習については、学校毎に判断を行ってもらい、3週間実施する場合は、委員会の承諾を得ることとしている。
白井委員	小中学校や幼稚園については、新型コロナウイルスの感染者を把握してあるが、保育園について把握はしているか。
指導主事	保育園は把握していないが、家族からの感染を防ぐ意味でも2学期の開始に合わせて、本人も含めた家族が体調不良の場合は登校（園）を控えるなど、幼稚園、小中学校の保護者宛に通知を出している。しかし、社会体育など把握が難しいところで感染者が出ている状況もあるので、注意喚起を行っている。
白井委員	連携は取っておく必要がある。
学校教育課長	学童保育とは常に連携を行っている。
園田委員	社会体育にも自粛要請はあっているのではないか。
教育部長	自粛要請の文書を配布している。
白井委員	キャリアパスポートについては、小学校から高校まで継続して実施すると説明があったが、配布されたのは小中学校のみである。
指導主事	市教育委員会が管轄しているのは小学校中学校のみであるため、小中学校分を準備している。
白井委員	小学校から高校までの連携は必要なため、先生方にも高校まで続いていくという意識を持ってもらいたい。
指導主事	学校で児童生徒1名ずつにクリアファイルを準備してもらい、差し込んでもらうようにしており、普段は学校に保管している。
白井委員	県、全国学力調査で小学校5年時に受けた児童が、中学校2年になった時点で受けた結果の比較ができないか。
指導主事	宇土中への入学や、転入転出等で出入りがあるため、比較は難しい。
白井委員	小学校5年生から中学校2年生までの課程でどう変化したのか分かったと数値的に上がっていなくても、課程を見れば教育効果が出ていると判断できると思う。
近藤委員	手間がかかるということであれば、そのままの状況で比較していいのではないか。

- 白井委員 結果を受けてしっかりフォローしていくよう考えてほしい。
- 園田委員 学校経営案に各学年の結果を見て経過を見て、その学年がどうだったのか考える必要がある。経営案にしっかりと書かれていない学校もあったので、しっかり記載してほしい。
- 太田教育長 学年もだが、個人に焦点を合わせて指導を行っていく必要がある。
- 白井委員 学校現場も大変かと思うが、児童生徒の学力向上については、学校及び教員の大きな使命なため、継続して指導ができるような取組を行ってほしい。
- 太田教育長 できたところとできなかったところについて、指導主事から学校に周知してあり、教育事務所からも細かく指導があっている。指導についてはそれぞれの学校で工夫をされている。
- 太田教育長 さきほどキャリアパスポートをクリアファイルに差し込むと説明したが、すべてを差し込むと分厚くなってしまうので、指導主事が作成した内容を保存するようにしており、中学校卒業時に高校へ持っていき高校では新しい様式で作成をする形になる。
- 近藤委員 個人で社会体育施設等を利用するのは可能なのか。
- 生涯活動推進課長 家族であれば可能である。
- 園田委員 大人の利用は可能か。
- 生涯活動推進課長 社会人は可能だが、外出の自粛要請があっているため、自粛のお願いは引き続き行っていく。
- 園田委員 このまま蔓延防止重点措置が継続されると、対応も継続されるのか。子どもたちの体力の維持は学校内のみになるのか。
- 生涯活動推進課長 部活動についても原則停止になっている。重点措置も現時点では30日までになっているが、感染者数については減少傾向になっている。しかし、爆発的な拡大を防止するためにも気を緩めることなく取り組んでいく必要がある。

議事録署名

委員 園田 寛子

委員 近藤 修